



# NPO救命おかやま 会報

Vol. 35

NPO  
救命おかやま  
Kyumei Okayama



2021. 6. 1 発行



## 1. ご挨拶

### 巻頭言

理事長 氏家良人（函館市 病院局長）

令和2年2月に始まった我が国の新型コロナウイルス感染症は、東京オリンピック2020を延期、岡山マラソン2020を中止に追い込みました。夏から秋にかけて一時減った患者数は10月末から再び増加がみられ、それまでで最も大きな第三波となりました。そして、令和3年は第三波が収まる間もなく、変異株が中心と思われる第四波が3月からおそってきています。会員の皆さんもそれぞれの地域で、職場でその対応に追われ、また、クラスターの出現に振り回されることがあったことと思います。皆さんが、無事その苦難を乗り越えられていることを信じております。

コロナに対するワクチン接種が医療者や高齢者においては始まりましたが、医療者でもまだ接種されていない方が沢山おられると思いますし、高齢者にはほとんどの方がまだ接種されていません（5月7日現在）。ワクチンの効果は期待していますが、抗体価は時間と共に低下してくるようでその効果の持続期間がわかっておりません。

このような中、昨年暮れにAHA、また、今年の3月にJRCの心肺蘇生法ガイドラインの改訂のドラフトの発表がありました。今回の会報では清輔理事にAHAとJRCの変更点をまとめていただきました。心肺蘇生法の教育、コース開催は決して不要不急のことではなく、われわれは感染を防止しつつコース開催を進めて行く必要があります。それは、職場に限られたコースになるかもしれませんが、始める準備をしなければなりません。コロナ禍におけるコース開催に関してのNPO救命おかやま、また、AHAとしてのポイント、注意点を、角南監事、津島副理事長にまとめてもらいました。それから、昨年暮れと今年の初めに岡山大学歯学部研修医に対するICLSコースが石井副理事長をCDとして開催されました。CCの岡山大学准教授樋口仁先生と石井先生にその報告をお願いしました。また、氏平監事には長年続けて来られた和気中学校と三軒小学校のミニアンを用いたBLS講習に関して報告して頂きました。

100年前のスペイン風邪の収束には3年を要したと言われています。国内および国際間の人流が比較にならないほど大きくなった現在、どのようになるのかわかりません。また、コロナが収まっても、新たな感染症は何年か何十年かの間隔で起こりえます。新型コロナウイルスにより、われわれは基本的感染対策が日常的に必須で重要であることを思い知らされました。最も大切なことはわれわれが感染しないことです。平田理事は感染対策の専門家である感染管理認定看護師（CNIC）として川崎医大で活躍されていますが、この会報で、職場でまた家庭における感染対策に関して書いていただくようお願いしました。会員のみなさまも再確認をしていただきたいと思います。

今年は7月に総会に続いて記念講演を開催します。記念講演はweb開催になりますが、講師の松本先生また会員のみなさまとzoomを介してお会いできることを楽しみにしています。

最後に今年度がポスト・コロナ元年になることを心より祈っております。



## 2. ご報告

### ◆2020年度第2回理事会

2020年12月18日 オンラインZoom

理事長：氏家良人

2020年12月18日に2020年度第2回目の理事会を開催いたしました。議題は、会員数報告、11月までの活動状況報告、今後の活動予定、また、6月～11月までの会計報告がなされました。会員数は、正会員50名、活動会員291名、賛助会員は、団体会員21団体で（2020/12/1現在）、我々の活動を支えてくれています。会計もこれまでのところ健全会計で経過しております。

## 3. ご案内

### ◆2021年度NPO救命おかやまの活動について

- ・2021 第16回定時総会：2021年7月10日（土）14：30～15：00
- ・2021 第16回講演会：2021年7月10日（土）15：30～16：30（onlineZoom）  
※定時総会・講演会の詳細は、〈6.事務局からのご案内〉より確認ください。
- ・各コース開催について：コロナ禍の状況を見ながら検討。HP・メールにてご案内予定
- ・2021おかやまマラソン AED班スタッフ活動：おかやまマラソン事務局より依頼を受けて現在募集中  
※詳細は会報下記またはHP・会員メールよりご確認ください。  
※おかやまマラソン2021：2021年11月14日（日）
- ・2021市民のための救命講習会：2021年11月13日（土）14：00～15：30  
※マラソン協働事業として、岡山県医師会・NPO救命おかやまの共催で開催  
※対象をマラソンランナー・マラソン関係者に限定（一般市民は感染防止の観点より募集をいたしません。）



## 4. 心肺蘇生法ガイドライン 2020—何が変わったのか

理事 清輔良江（倉敷中央病院）

ILCOR（国際蘇生連絡委員会）は、2005年にCoSTR（心肺蘇生に関わる科学的根拠と治療勧告コンセンサス）を発表し、このCoSTRに基づき、各地域や国の実情に合わせてガイドラインが作成されました。その後ILCORは5年ごとにCoSTRを発表してきましたが、2017年からは、1年毎にCoSTR集を発表することにしました。それに伴い、AHA（アメリカ心臓協会）は、改定事項がまとまればその都度、こまめにアップデートする方針に転換していますが、JRC（日本蘇生協議会）は引き続き5年毎に改定するというスタンスを取っています。

2020年10月22日にILCORのCoSTR2020が発表され、同時期にAHAガイドライン2020（AHA-G2020）、2021年3月末にJRCガイドライン2020（JRC-G2020）のドラフト版が発表されました。今回の改定では、それほど大きな変更はありませんでしたが、AHAとJRCのガイドラインの変更点について述べさせていただきます。ただし、JRCガイドラインの最終版は、2021年10月以降に発表の予定ですので、少し変更があるかもしれません。

### ・救命の連鎖

AHA-G2020では、「救命の連鎖」の6番目に回復の鎖が加えられました。「心停止から回復した患者は社会的に復帰するまで身体、認識、精神的なサポートが必要である。これらは入院中に開始し、必要とされる期間中継続するべきである。」と記載されており、社会復帰まで含めた考え方が示されました。

### ・市民救助者によるCPR

AHA-G2020では、市民救助者による早期のCPR開始の重要性が再度強調され、以前のガイドラインまでは、胸骨圧迫を行う前に衣服を脱がすように記載されていましたが、AHA-G2020では、衣服を脱がすのが困難な場合は、衣服の上から胸骨圧迫を行ってもよいという記載に変更されています。

### ・人工呼吸

AHA-G2020では、成人の呼吸停止に対する補助呼吸は、5-6秒に1回から6秒に1回に変更されました。

### ・気道異物による窒息への対応

CoSTR2020では、背部叩打が腹部突き上げよりも優先度が高くなっています。JRC-G2020では、「声が出ないか有効な咳ができない、あるいは当初は咳をしていてもできなくなった場合には、成人や1歳以上の小児では、まず背部叩打を行う。背部叩打で異物が除去できなかった場合は、腹部突き上げを行う。」という記載に変更しています。

### ・心停止における抗不整脈薬

CoSTR2018では、「アミオダロンまたはリドカインの使用を提案する」としており、アミオダロンとリドカインの両方を第一選択とするということです。AHAは、2018年のアップデートでそのように変更されていますが、JRC-G2020では、G2015を変更せずにアミオダロンを第一選択としています。

### ・自己心拍再開（ROSC）後の患者ケア

AHA-G2020では、ROSC後の目標酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>）は、92-98%（G2015は94%以上）、呼気終末二酸化炭素分圧（ETCO<sub>2</sub>）35-45%（G2015は35-40%）に変更されました。JRC-G2020では、「あらゆる状況において心停止後のROSCした成人では、低酸素症を回避することを推奨する。あらゆる状況において心停止後のROSCした成人では、高酸素症を回避することを提案する。心停止後のROSCした成人では、正常PaCO<sub>2</sub>と比較して軽度の高PaCO<sub>2</sub>を目標とするかについて推奨も否定もできない。心停止後のROSCした成人では、低PaCO<sub>2</sub>をルーチンに目標としないことを提案する。」という記載になっています。

## 5. コロナ禍におけるコース開催—どのように開催すべきか—

### 1) NPO救命おかやまのICLSコース

監事 角南和治（岡山協立病院）

この1年以上に及びコロナ禍でICLSコース開催が困難な状況が続いています。しかしワクチン接種の広がりなど収束に向けた兆しもみられ、まずは院内など限定されたコースから再開し、状況をみながら徐々に拡大したコースを開催していただければと願っています。

NPO救命おかやまでは2020年7月に講習会開催時の感染予防ガイドラインを策定しました。詳細はNPOのホームページに掲載していますので参照ください。

ここでは要点を列挙します。

#### (1) 感染者およびその可能性のある人は参加しない

当然ですが上記を徹底することが最重要です。コース責任者（CD）は①「感染予防チェックシート」、②「講習会参加にあたってのお願い」、③「NPO救命おかやま講習会開催時の感染予防ガイドライン」を事前配布して参加者（受講者・インスト）に普段の行動も含めた注意喚起を行い、当日最終の体調チェックを行ってください。

CDはコースを実施する施設・病院に開催許可を得て、万一の感染の備え、受講者、インスト名簿作成時に緊急連絡先を記載しておくことも重要です。

#### (2) もしもに備え、できるだけ感染防護をしておく

マスク着用してもらい、手指衛生（アルコール消毒など）を徹底することが一番です。

マネキンひとり1体が理想ですが、困難な場合は手技ごとのアルコール清拭+手指衛生をしてください。

シナリオでは1体の人形を複数人で触ることになり、さらにバッグバルブマスク、除細動器など他の器材も複数人で触れるため、できれば手技ごと（最低でもシナリオごと）に手指衛生を行ってください。シナリオごとの手袋着用も推奨されますが、手袋の供給量、さらに手袋した状態で無意識に顔を触ったりすれば意味がなく、手技毎の手指衛生徹底を優先しています（コース毎で判断してもらってかまいません）。なおマネキンへの「息の吹き込み」は絶対に行わないでください。

できるだけ「密」にならないような人数と部屋の設定（受講者数の厳密な制限はしていません）、飲食での注意点、部屋の換気、消毒箇所なども記載していますので、コース開催時をご確認ください。

### (3) コース後の健康観察も大事です

コース終了時に体調のすぐれない方がいないか最終確認を行い、万一帰宅後2週間以内の体調異変があれば連絡してもらおうようにしてください。

## 2) AHAコースのコース開催のポイント

副理事長 津島義正（心臓病鶴センター榎原病院）

### AHAコースの開催状況

2020年4月から半年間は、コース開催を中止して経過をみていました。その後、救命処置講習は『必要』なものとして、受講希望を聞くようになり、秋から小規模の開催を再開しました。ガイドラインに沿って、BLSは人形、バッグマスク、AEDトレーナーなど機材を各人1セットとし、チーム蘇生でも各人の機材だけを使ってチームとしてロールプレイを実施。またBLS、ACLSともに受講生6人に絞っており、会場も限定している状況です。

2021年のトピックスはHeartCode BLS（ハートコード BLS）が導入されたことです。Part1：オンライン学習パート、Part2：スキルパートの2部構成となります。学習者はいつでも、インターネットでPart1（オンライン学習パート）を自分のペースで進めることができます。Part2（スキルパート）では従来の対面方式を取り入れることで質の高い手技の習得を確実にものにします。会場では実技練習と実技試験だけになり、所用時間が従来の半分の約2時間半に短縮される点がインストラクターにとっても助かります。

私も2015版のPart1を試してみましたが、話題ごとに繰り返し理解度確認の質問が出てくるので睡魔に襲われることもなく、筆記試験まで分割して進めることができました。

さらに2020準拠版では、受講者に適した学習内容や学習レベルを提供するアダプティブラーニング（adaptive learning）が導入されました。AIが受講者の進捗状況や習熟度を分析、反映することにより、受講者のレベルに適したコース内容に自動調整。

さらに、正解するまでは同じ問題が繰り返し出題されるため、確実に知識定着するまで学習することになるそうです。AHAの教育ツールのすごさに改めて感じました。

HeartCode BLSコースに関しては、日本ACLS協会のホームページに詳しく掲載されていますのでどうぞご参照ください。

## 3) 岡山大学病院歯科研修医ICLSコースを開催して

### ①CCとしての準備と注意点

岡山大学病院 歯科麻酔科部門 樋口 仁

岡山大学病院歯科研修医ICLSコースは、岡山大学病院における歯科研修医の研修プログラムの一環として、15年以上継続しているコースです。毎年50名程度の歯科研修医がこのコースを受講していますので、実に700名以上の歯科研修医が、このコースを通してICLSを学んでいます。

新型コロナウイルスの影響は研修医教育にも影響をもたらし、様々なプログラムが縮小され、研修医も多くの学びの場を失いました。正直、この歯科研修医ICLSコースの開催もかなり躊躇しました。新型コロナを理由に開催を取り止めるのは、様々なリスクを回避するために最も簡単かつ確実な方法で、誰にも文句は言われたいと思います。しかしここで止めてしまうと、ICLSコースを継続するという自身の気持ちが萎えてしまいそうであったこと、何よりも次を担う研修医に学びの場を提供することは必要不可欠と思い、以下のような感染対策を講じて開催しました。

1. コース中は常時マスクを着用。
2. ディスポーザブル手袋、手指消毒用アルコール、機材消毒用アルコールワイプを各ブースに準備。インストラクターは密になる際、あるいは機器に触れる際には手袋の着用とアルコール消毒を心がける。また機器等の消毒も適時行う。
3. 受講生は、コース中はマスク、ゴーグル、手袋を着用（結果的にこれは実際のシチュエーションに則した形となりました）。また実技やシナリオに入る前に手指消毒を行う。
4. 30分に一回は部屋の換気を行う。
5. BLSの人工呼吸は仮想で。
6. 飲み物、食事は各自で準備。昼食も密にならずに、各自でこっそりと。



この歯科研修医コースの売りである、豊富なおやつと飲み物、豪華なお弁当が準備できなかったことは大変

喜びなかったのですが、コースを通しての受講生の成長、コース終了後の満足した顔を見たとき、「やっぱりICLSコースを開催して良かった！」と強く感じました。

まだまだ新型コロナ感染症が収束する兆しはありませんが、今年度もしっかりと感染対策を行い、歯科研修医ICLSコースを開催します。皆さま、ご協力のほど、どうかよろしくお願いします。

## ②CDとしてのコース中の注意点

副理事長 石井史子

2020年は殆どの研修会やイベントが中止となりました。その中で樋口先生から例年通り歯科研修医コースを開催したいと連絡があったのは10月でした。救命おかやまの感染ガイドラインはその段階ででき上がっていてそれに従うのは勿論ですが、大学としての開催である以上施設の感染ガイドラインに従う必要があるためそれを確認してもらいました。日程も12月、1月、2月と決めたものの、歯科の先生方もスタッフとして何人も参加されますが内部だけでの開催は困難であり、インストラクターがちゃんと集まるのかという危惧がありました。直前のキャンセルもあったりスタッフの人数も十分とはいえない状況下ではありましたが、無事に12月2ブースと1月3ブースの2回のコースを例年と遜色なく開催する事ができました。この背景にはこのコースの特徴が歯科研修医のコースでありスタッフは歯科医の先生方を中心に院外からの参加者も全員何度も参加している気心の知れたメンバーであった事が大きいと思われまます。12月ともなると歯科研修医の皆さんも全員コロナ禍の診療に携わっており、コースの中であえて感染に注意する事は殆どありませんでした。スタッフも人形や器材の消毒は勿論の事、受講者の椅子も変わるたびに拭いて、寒い中窓を開けて換気を意識し、恒例のランチミーティングもランチは別にしてさらっとミーティングのみ行うようにしました。結果としてコースの質としては従来の和気藹々とした雰囲気は残しつつ最後に受講者のやり切った満足した顔も見ることができましたし、何より直前に大学職員の感染が報道された中での開催だったにも関わらず全員無事に終了したことでホッとしました。また中止にするのはある意味簡単ですが、改めて改めて開催する事の大切さも感じました。樋口先生はじめ歯科の先生方は本当に心配が大きかったと思います。この状況下で開催を決定された事にも、参加して頂いた皆様にも心から感謝しています。

## 4) 中学校におけるBLSコースを開催して

監事 氏平 徹(氏平医院)

AHAガイドライン2000の発表を受けて岡山でも医療従事者のBLS講習会が始まりましたが、県南東部の和気エリアでも、平病院の皆さんと当NPOの浅越さん達が熱心に研修されて心肺蘇生・救命講習の輪が広がりました。BLSコースが院内で2~3巡した2011年に、平院長の発案があり「教えることは2度学ぶこと」の精神で、一般市民への啓発活動として近隣の和気中学校の生徒を対象にAED講習会を開催することになりました。平病院スタッフがインストの中心となり、2年生90名を二組に分けて、簡易型心肺蘇生人形(ミニアン)を用い、50分のマス・トレーニングとして行いました。生徒のアンケートで楽しくわかりやすいと高評価を得たので、以来毎年講習会を続けています。当NPOと備前県民局で作成したAED講習会のDVDが出来てからは講義部分に活用しています。

また、その経験から、2014年には私が学校医をしている岡山市立三軒小学校の6年生90数名に命の大切さを学ぶ経験に繋がる実習授業として、当NPOのご協力のもと、45分間のAED講習会を開催するようになりました。

「ミニアン」は風船を膨らませる準備がありましたが、2017年から箱を開けるだけの「あっぱくん」に変更して会場設営が楽になり、2019年には一度に100名の講習会が可能となりました。学校の体育館の床に「あっぱくん」を並べ、講習時間はDVD鑑賞と実習で通常の授業ひと枠に収まる設定にしています。

2020年から教育要項の変更により救命講習が中学校の必修科目となることを受けて、2020年も和気中学校では従来通りの講習会を予定しましたが、新型コロナウイルス感染症流行のため、急遽、実技を伴う講習会開催は中止して座学のみとなりました。

小学校は9月に新型コロナウイルス感染症患者数が少し落ち着いていたこと、また、児童の日頃の感染対策の実態を勘案して、十分検討した上で、体育館で換気を十分にいき3密を避けて開催しました。「あっぱくん」は共有せず、胸骨圧迫の交代練習はタイミングをとる声掛けだけにしました。感染対策の必要性和臨場感を出すため、フェイスシールドとマスク、手袋とガウンを着たインストが、レサシアンで胸骨圧迫を交代しながら続けるBLSをデモしました。アンケートでは、初めてで手が痛かったけど楽しくわかりやすかったと好評でした。

## 6. 職場で家庭でのコロナ感染対策—再確認—

理事 平田早苗(川崎医科大学附属病院)

皆さまは、新型コロナウイルスのワクチン接種は済ませましたか。ワクチン接種は、感染した際の発症予防や重症化が期待されるので、迷っている方には接種をお勧めします。しかし、ワクチンによって他の人への感染予防になるかどうかはまだわかりません。感染力が強いと言われる変異株も気になります。ワクチンを接種しようが、変異種が出てこようが基本的な感染対策は変わりなく、継続していく必要があります。新型コロナウイルス(以下、コロナ)は、ヒトの体の中で細胞にとりついて増殖し、主には呼吸器から飛沫物として体外に排出されていきます。体の外の環境では増殖することはできませんが、環境でしばらくの間、生きながらえることが出来ます。そして、コロナは粘膜や呼吸器からヒトの体の中に入り込んで、増殖し、感染症を引き起こすのです。ここで大事なキーワードは、飛沫・環境・粘膜です。

飛沫物と一緒に出てきたコロナを吸い込まないためだけでなく、咳や会話などで起きる飛沫を防ぐためにマスクは重要な役割をします。誰かと空間を共有するときにはすべての人がマスクをすること（ユニバーサルマスク）が大切です。普段一緒に生活していない家族と会うときには、自宅であってもマスクするほうがよいでしょう。

次に環境ですが、どうしても手が良く触るところや物はコロナで汚染されやすいです。その他マスクを外した状態で過ごす場所、例えば食卓、洗面所などを共用する場合は注意が必要です。職場でのメイク直しや歯磨きなど、小物を安易に環境に置かないように気を付けましょう。環境のコロナの除去はアルコールなどの消毒薬がなくても家庭用洗剤（界面活性剤など）で可能です。汚れが残ったままでは消毒効果が低くなります。お掃除をして下さい。

そしてコロナは粘膜から感染します。特に鼻腔や口腔内、目の結膜など、顔が要注意です。人は無意識だと1時間に平均23回顔を触るといって研究報告があります。そのうち鼻・口・目など粘膜が44%でした。マスクをずらして鼻や口を触るのは危険な行為です。粘膜を保護することが大切です。顔に触るときには手をきれいにしてからにしましょう。

油断せず、対策を続けて自分と周りの人を護りましょう。皆様に早く会えますように。

## 7. おかやまマラソンAED班募集

2021年、おかやまマラソンは今のところ開催予定です。つきましては、例年同様、おかやまマラソンからの依頼で、下記ご案内を掲載いたしますので、ご都合がつけば皆様よろしくお願いたします。

おかやまマラソン2021 AED班スタッフ募集要項		申込締切 6月30日(水)	おかやまマラソン2021 大会概要	
<b>活動日</b> ●2021年11月14日(日)	<b>申込方法</b> ●郵送 / FAX / E-mail 申込書に必要事項を記入の上、下記に送付して下さい。 入力用電子ファイルをご希望の際は、下記メールアドレスにご連絡下さい。	開催日時: 2021年11月14日(日) 8:45 スタート	種目: マラソン(ファンランは休止します)	制限時間: 6時間 ※41.6km(地点)
<b>募集人員と活動内容</b>	〒703-8293 岡山市中区小橋町1-1-25 岡山県庁小橋町庁舎1F おかやまマラソン実行委員会事務局 競技運営課 FAX: (086) 224-1570 E-mail: info@OkayamaMarathon.jp	主 催: おかやまマラソン実行委員会 主 管: (一財)岡山陸上競技協会	～活動の様子～	
① <b>自転車AED班 (24名)</b> AEDを所持し、自転車でコース上を一定のペースで走行し、ランナーの状態を観察。傷病者の早期発見、初期対応や、重症者の応急対応、一次救命処置などを行う。	●インターネット申込 (パソコン・スマートフォン等) NPO救命おかやま事務局からのメールに記載されたURL又は、二次元コードから電子申請システムにアクセスし、利用者登録 せしめ申し込み方はこちらポタンを押して進んで下さい。	スケジュール	6月30日(水)	申込締切
② <b>待機AED班 (76名)</b> AEDを所持し、コース上の配置ポイントにて待機し、通過ランナーの状態を観察。傷病者の早期発見、初期対応や、重症者の応急対応、一次救命処置などを行う。	●自転車AED班 ●待機AED班 ●フィニッシュAED班	9月上旬	10月3日(日)	11月13日(日)
③ <b>フィニッシュAED班 (80名)</b> AEDを所持し、フィニッシュ会場の各地点にて待機し、ランナーを観察。傷病者の救護所への搬送や、緊急時の一次救命処置などを行う。	●登録住所に救護活動に関するご案内を送付しますので、郵便番号、住所、建物名、郵便番号は正確に記入下さい。 ●参加できない場合は、直ちに事務局へご連絡下さい。 ●体調管理チェックを義務付け、活動日当日に確認します。 ●発熱、咳などの症状がある場合、参加をお断りすることがあります。 ●65歳以上の方、基礎疾患を有する方などは、新型コロナウィルス感染症による重症化リスクが高いことを認識し上でご参加下さい。 ●参加者等で、新型コロナウィルス感染症の感染者等が発生した場合、保健所等の聞き取り調査にご協力いただくことがあります。 ●主催者の感染症防止対策上の指示に従って下さい。 ●感染状況等を総合的に判断し、中止する場合があります。	10月3日(日) 未定 11月13日(日) ランナー受付 救命講習会 (NPO救命おかやま) 11月14日(日) おかやまマラソン2021	11月13日(日) 救護スタッフ説明会 ※マニュアル、スタッフウェア、キャップ、マスク等をお渡しします。 11月14日(日) 救護スタッフ説明会 ※マニュアル、スタッフウェア、キャップ、マスク等をお渡しします。	11月14日(日) 自転車AED班 待機AED班 フィニッシュAED班
<b>活動時間(予定)</b>	<b>注意事項</b>	<b>活動の留意事項</b>		
①自転車AED班 7:30～15:00 ②待機AED班 7:00～15:00 ③フィニッシュAED班 9:30～16:45 ※活動場所によって異なります。	●申し込みは先着順とし、募集人員に及び次第、締め切ります。 ●活動場所については、NPO救命おかやま事務局と相談の上、決定しますので、ご了承ください。 ●活動は長時間にわたり、立つままでの活動が主となりますので予めご了承ください。	●活動中の早退、途中からの参加はできません。休養は適宜、交代でとっていただく予定です。 ●遺物を預ける場合は必ず、貴重品を含め、荷物は各自で管理し、盗難や紛失に十分ご注意ください。貴重品や荷物の紛失に関しては、主催者は一切の責任を負いません。 ●更衣場所はあります。予め動きやすい服装で活動場所に集合して下さい。また、寒暖・雨天対策は各自で行って下さい。 ●自転車AED班の自転車は事務局で用意 岡山市コミュニティサイクルももちろですが、個人所有の自転車でも活動していただくも構いません。なお、個人所有の自転車でも活動する場合は、必ず自転車損害賠償責任保険等に加入して下さい。 ●活動に参加する際の交通手段、経路の確認や宿泊の手配は各自で行って下さい。 ●当日は現地集合・現地解散となります。集合場所付近に駐車場がない 待機AED班を除くので、可能な限り公共交通機関を利用するなど、交通手段の手配は各自で行って下さい。 ●当日は事前にお渡しするスタッフウェア、キャップ、マニュアル、マスク等防護具を必ずご持参下さい。 ●事故やケガがあった場合は、主催側で加入するスタッフ傷害保険の適用範囲内に対応します。個人負担なしです。医師等賠償責任保険についても主催者側で加入し、保険の適用範囲内に対応します。個人負担なし。いづれの保険も新型コロナウイルス感染症の感染は、補償対象外となります。		
<b>支給物品(予定)</b>	<b>個人情報の取扱いについて</b>	●主催者は、個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取扱いします。 ●大会に関する救護活動を円滑に行うことを目的とし、活動内容連絡、説明会開催連絡、出入管理、関連資料発送、登録情報の確認連絡、参加履歴・経歴に基づき配置、アンダー・ドレジャー・飲料、各種保険手続きのために利用します。 ※事務局から、申込内容に関する確認連絡をさせていただいた場合があります。 ●救護活動中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は主催者に譲ります。また、大会ブログなど、主催者が発行する媒体において、氏名を掲載する場合があります。 ●新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合、感染防止対策上、必要な情報を保健所等に提供します。		
<b>申込締切</b> ●2021年6月30日(水) 必着	<b>お問い合わせ お申し込み</b>	おかやまマラソン実行委員会事務局 競技運営課 TEL: 086-226-7913 ※9:00～17:00 ※土・日・祝日は除く FAX: (086) 224-1570 E-mail: info@okayama-marathon.jp 大会ホームページ <a href="http://www.0okayama-marathon.jp/">http://www.0okayama-marathon.jp/</a>		

## 8. 事務局からのご案内

### ♥総会・講演会(ご案内)

#### ◆第15回: 定時総会開催のお知らせ◆

開催場所: オンライン Zoom、又は、岡山国際交流センター 8F「イベントホール」  
開催日時: 2021年7月10日(土) 14:30～15:00  
対 象: 正会員

特定非営利活動法人 NPO救命おかやま 2021年度「第15回定時総会」は、オンライン Zoom と会場(参加)とのハイブリット形式で開催いたします。皆様お時間のご都合をつけて、できればオンライン Zoom での参加をお願いいたします。尚、有効数確認のため出欠お返事および委任状の提出が必要のため、必ず事前回答を、NPOのHPから、または「第15回定時総会」QRコードよりよろしくお願いたします。※講演会参加は、別途講演会お申込みが必要となります。

2021 総会 QR コード





## ◆第15回：2021 講演会開催のお知らせ◆

開催場所：オンライン Zoom

開催日時：2021年7月10日(土)15:30~16:30

対象：会員および興味のある皆様どなたでもご参加いただけます。

2021 講演会 QRコード



講演会はオンライン Zoom での開催です。(詳細は同封のチラシをご覧ください)  
NPO救命おかやまHPから、又は、右QRコードよりお申込ください。お申し込みをいただきますと、自動返信にて「Zoom 招待状」が届きます。招待状が届かない場合やご不明な点がございましたら、事務局までメールにて (office@kyumeiok.sakura.ne.jp) ご連絡ください。

☆Zoom アプリをご利用の方は、最新版にアップデートしておくことをお勧めいたします。

## ♥会費請求(ご案内)

NPOの年度の始まりは6月となっております。新しい年度(2021年度)になりましたので、会費請求ご案内と青色の会費請求用振込用紙を同封いたしております。お振込み用紙をご確認いただき、会費のお支払いをよろしくお願い致します。赤色の振込み用紙は寄付専用ですので間違えないようお願いいたします。

なお、NPO救命おかやまの定款により、3年間会費を滞納した会員は自然退会となり、メンバーリストからのメール削除および会報の発送は行われなくなりますのでご注意ください。

※お振込み先の振替口座は、銀行からの振込も可能です。

銀行振込を希望の方は、会員番号とお名前を記入の上お振込みをお願い致します。

【会員用郵便振替口座】 口座番号：01310-8-95943

口座名義人：NPO救命おかやま(エス・オー・キウメイカヤマ)

【会員用銀行振込】 会費用銀行口座

ゆうちょ銀行 一三九(イサノクウ) 店 当座 口座番号0095943

口座名義人 特定非営利活動法人NPO救命おかやま

(トクホエイリカツウキョウジエス・オー・キウメイカヤマ)

※会費についてのお問い合わせは、事務局までメール (kyumeiok@md.okayama-u.ac.jp) にてご連絡ください。



## ♥ボランティア保険の加入に関して

会員の皆様には、ボランティア保険(Aタイプ)会員の加入手続きを行います。こちらの保険加入条件は前年度の会費を年度末(5月末)までにお支払していただいた会員の方が対象で、費用は会費に含まれます。

不明な点がございましたら、事務局までメール (kyumeiok@md.okayama-u.ac.jp) にてお問い合わせください。

## ◆住所・勤務先の変更について

住所・勤務先、メールアドレス等の変更はお早めに随時事務局までメール・FAXにてご連絡ください。

※お振込み用紙記載の勤務先や連絡先住所・TEL等に変更がある場合は、変更記入の上、入金手続きをお願いします。

## ◆入会のご案内

NPO救命おかやまでは現在会員を募集いたしております。NPOの活動にご興味のある方のご紹介をお願いいたします。お申し込みは、HPの入会の項目よりお申し込みフォームにてお申し込みください。

尚、HPにて申込入力後、またはコース開催時の入会申込用紙提出後、入金がまだの方は会員の手続きは未登録の状態となりますので、早めの入金をお願いいたします。

## ◆寄付金募集のご案内

NPO救命おかやまでは現在寄付を広く募集いたしております。NPO救命おかやまの活動のさらなる充実のため、心肺蘇生の輪を広げるこの活動にご賛同いただき、寄付金のお申込みいただけます場合は、同封の赤色の振込用紙(寄付用)よりお申し込みをお願いいたします。

また、NPO救命おかやまの活動にご賛同いただける方が周りにいらっしゃいましたら何卒ご紹介の程よろしくお願いいたします。

尚、NPO救命おかやまは特定非営利活動法人ですので、寄附に伴う税制上の優遇措置はありません。

※寄付専用の振替用紙をご利用ください。寄付の振替用紙での会費のお支払いはできませんのでご注意ください。

【寄付用郵便振替口座】 口座番号：01300-9-104786

口座名義人：NPO救命おかやま(エス・オー・キウメイカヤマ)

【寄付用銀行振込口座】 ゆうちょ銀行一三九(イサノクウ) 店当座 口座番号0104786

口座名義人：特定非営利活動法人NPO救命おかやま

(トクホエイリカツウキョウジエス・オー・キウメイカヤマ)



【発行元】 特定非営利活動法人 NPO救命おかやま 事務局

〒700-0914 岡山市北区鹿田町1-7-10

電話&FAX：086-226-3999

E-mail：office@kyumeiok.sakura.ne.jp

HP アドレス：http://npo-ok.umin.jp

陰影から  
応援してます

